

2025年度

埼玉県立大学大学院
保健医療福祉学研究科

保健医療福祉学専攻【博士前期課程】

保健医療福祉学専攻【博士後期課程】

学 生 募 集 要 項

第 1 回（ 9 月 入 試 ）



埼玉県立大学
SAITAMA PREFECTURAL UNIVERSITY

I	基本理念・教育研究上の目的・教育目標・入学者受入れ方針	1
II	博士前期課程入学試験募集要項	3
1	募集人員	3
2	標準修業年限及び学位	3
3	出願資格	3
4	選抜方法	4
III	博士後期課程入学試験募集要項	6
1	募集人員	6
2	標準修業年限及び学位	6
3	出願資格	6
4	選抜方法	7
IV	博士前期課程 博士後期課程 共通事項	9
1	出願資格審査	9
2	出願手続	10
3	出願前相談	13
4	入学時期	14
5	合格発表	14
6	社会人の就学に関する特別措置	14
7	入学手続	14
8	初年度納付金	15
9	入学試験成績の開示	15
10	個人情報の取扱い	16
11	第2回（3月入試）について	16
12	その他	17
13	研究指導教員	18

第1回入試 スケジュール【前期・後期課程 共通】

期 間	内 容	対 象
5月1日(水)～6月14日(金)	出願前相談	出願を希望する方（全員必須）
5月1日(水)～6月14日(金)	障害等のある 入学志願者の事前相談	障害等があり、受験上の配慮を必要とする方
6月24日(月)～6月28日(金)	出願資格審査（申請）	個別学力審査による出願を希望する方
7月12日(金)	出願資格審査（結果発送）	出願資格審査申請者
7月8日(月)～7月12日(金)	出願期間 （後期学内推薦）	博士後期課程学内推薦特別選抜（一般枠）に出願する方
7月22日(月)～7月26日(金)	出願期間 （前期・後期一般選抜）	博士前期課程及び後期課程の一般選抜に出願する方
8月2日(金)	受験票発送	入学志願者全員
9月7日(土)	入学試験	入学志願者全員
10月11日(金)	合格発表	入学志願者全員
書類到着後～10月24日(木)	入学手続	入学試験合格者

基本理念

本学は、陶冶、進取、創発を基本理念として、保健医療福祉に関する教育・研究の中核となって地域社会に貢献します。

【陶冶】誠実で温かい心と主体性を持ち、多様な価値観を尊重する人間性を磨き高める

【進取】広く先達に学びつつ、未来を志向する教育・研究に取り組む

【創発】多様な連携を通じて、予測を遥かに超える新たな価値を創造する

I 教育研究上の目的・教育目標・入学者受入れ方針

1 博士前期課程

(1) 教育研究上の目的

自らの専門分野に関する諸問題に対し、多職種の知識と技術を連関させる学際的な思考を基に実効性・有効性のある解決方法を立案できる能力を有し、職業人、教育者又は研究者として、持続的に人々の健康と生活を支えることができる人材を育成することを目的とする。

(2) 教育目標

本学大学院博士前期課程では、複雑多様化する社会において、生活する人々の健康ニーズに高い倫理観をもった的確に対応するとともに、国際的な視野と地域への関心を持ちながら、保健医療福祉に関する専門的知識を修得し、保健・医療・福祉等の多職種と連携してヘルスプロモーションを発展させることができる人材を育成することを教育目標とします。

(3) 入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

本学大学院博士前期課程では、複雑多様化する社会において、生活する人々の健康ニーズに高い倫理観をもった的確に対応するとともに、国際的な視野と地域への関心を持ちながら、保健医療福祉に関する専門的知識を修得し、保健・医療・福祉等の多職種と連携してヘルスプロモーションを発展させることを目指す人を受け入れます。

入学者の選抜では、以下の資質・能力を確認します。

- ・保健医療福祉分野についての倫理観と問題意識
- ・保健医療福祉分野について学修するための基礎学力、思考力・判断力・表現力
- ・多様な人々と連携して問題解決にあたる能力と意欲
- ・継続的な学修と研究への意欲

なお、本大学院は多様な人々の持続的な学修と研究を可能とするためのカリキュラムを整え、社会人を受け入れます。

2 博士後期課程

(1) 教育研究上の目的

自らの専門分野に関して、多職種の知識と技術を高度に関連させる学際的な思考を基に国際的視野に立脚した先端的研究を推進する能力を有し、研究者、教育者又は職業人として、独創性ある健康科学の理論及び技術を開発できる人材を育成することを目的とする。

(2) 教育目標

本学大学院博士後期課程では、学際的な思考を基に多様な価値観を尊重する人間性を保ち、先人の積み重ねた知見に学びつつ、国際的視野に立脚した先端的研究を推進する能力を修得し、独創性ある健康科学の理論及び技術を開発できる人材を育成することを教育目標とします。

(3) 入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

本学大学院博士後期課程では、学際的な思考を基に多様な価値観を尊重する人間性を保ち、先人の積み重ねた知見に学びつつ国際的視野に立脚した先端的研究を推進する能力を修得し、独創性ある健康科学の理論及び技術の開発を目指す人を受け入れます。

入学者の選抜では、以下の資質・能力を確認します。

- ・保健医療福祉分野における基本的な研究能力とその基盤となる専門知識及び科学的な思考力
- ・多様な価値観を尊重する意思、継続的な学修と研究への意欲

併せて、本学で高度な研究を推進する上での研究領域の適合性についても確認します。

なお、本大学院は多様な人々の持続的な学修と研究を可能とするためのカリキュラムを整え、社会人を受け入れます。

Ⅱ 博士前期課程 入学試験募集要項

1 募集人員

研究科 専攻 課程	専修(分野)	入学 定員	募 集 人 員		
			計	一 般 選 抜	
				CNSコース	一般コース
保健医療福祉学研究科 保健医療福祉学専攻 博士前期課程	看護学専修	38名	15名程度	8名程度	7名程度
	リハビリテーション学専修		13名程度		13名程度
	健康福祉科学専修		10名程度		10名程度
	(社会福祉分野)				(若干名)
	(健康情報分野)				(若干名)
	(検査技術分野)				(若干名)

2 標準修業年限及び学位

標準修業年限は2年とし、看護学専修は「修士(看護学)」、リハビリテーション学専修は「修士(リハビリテーション学)」、健康福祉科学専修は「修士(健康福祉科学)」の学位が取得できます。

3 出願資格

(1) 一般選抜

博士前期課程の一般選抜に出願できる者は、出願前相談(13ページ「3 出願前相談」参照)をした上で、次のア～ケのいずれかに該当する者としします。

また、日本の大学を卒業・修了せず、外国の大学のみを卒業・修了(見込みを含む)した者は、ア～ケのいずれかに加えて【日本語資格要件】に記載のある①～②のいずれかを満たす必要があります。

なお、出願は、年度につき1回とします。

ア 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条の大学を卒業した者(又は2025年3月までに卒業見込みの者)

イ 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者(又は2025年3月までに授与される見込みの者)

ウ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者(又は2025年3月までに修了見込みの者)

エ 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者(又は2025年3月までに修了見込みの者)

オ 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程(文部科学大臣指定外国大学日本校)を修了した者(又は2025年3月までに修了見込みの者)

カ 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者(又は2025年3月までに修了見込みの者)

キ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日(※¹)以後に修了した者(又は2025年3月までに修了見込みの者)

ク 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号第1号～第12号、昭和30年文部省告示第39号第1号～第2号)

ケ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日までに満22歳に達する者※²

※¹ キで出願することを希望する者は、専修学校ごとに「文部科学大臣が定める日」が異なるので、文部科学省ホームページで確認してください。

※² ケで出願することを希望する者は事前に出願資格審査を受ける必要があります。

(9ページ「1 出願資格審査」をご覧ください。)

【日本語資格要件】

- ① 独立行政法人国際交流基金と公益財団法人日本国際教育支援協会とが主催する2010年度以降に行われた日本語能力試験（JLPT）のN1に合格した者。ただし出願前相談で指導教員が認めた場合はN2でも可。
 - ② 独立行政法人日本学生支援機構が実施する次に掲げる日本留学試験（EJU）を受験し、いずれかの試験で日本語科目450点満点のうち280点以上を得点した者。
- ※外国籍の方は入学手続時まで、「出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）」の規定において、大学院入学に支障のない在留資格を有すること。

4 選抜方法

英語、筆記試験、面接及び提出書類を総合的に判定して行います。

（1）選抜期日・科目・試験時間

2024年9月7日（土）

選 抜 区 分	受験者	試験科目等	試 験 時 間
全専修（分野）共通	全 員	筆記試験	9：00 ～ 10：30
	全 員	面 接	11：00 ～ 17：00

※面接終了時間については、受験者数により変更する場合があります。また、面接開始時間は当日決定します。下記〔（5）受験上の注意〕に記載のとおり、昼食は各自ご持参ください。

（2）試験会場

埼玉県立大学（埼玉県越谷市三野宮820番地）

（3）配点

配点については、次のとおりです。

区 分	試験科目・配点			
一 般 選 抜	英語 100点※	筆記試験 100点	面接 100点	合計 300点

※英語は TOEIC Listening & Reading Test の公式認定証の点数を換算します。

（4）試験科目等の内容

試験科目等	出 題 内 容
英 語	TOEIC Listening & Reading Testの公式認定証の点数を評価
筆記試験	保健医療福祉全般に関する問題
面 接	研究計画書、研究意欲等に関する質疑応答

（5）受験上の注意

- ア 受験者は、受験者集合時刻（午前8時40分）までに指定された教室に入室し、着席してください。
- イ 筆記試験開始後は20分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。
- ウ 各自の指定された面接開始時に不在であった場合には、欠席したものと取り扱います。
- エ 筆記試験と面接のいずれか1科目でも受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。
- オ 当日は、受験票、HBの黒鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴムを必ず持参してください。
- カ 筆記試験の際、受験票は試験監督員に明示できるよう机の上に置いてください。
- キ 当日受験票を忘れた者は、速やかに試験実施本部で仮受験票の交付を受けてください。
- ク 受験票は入学手続の際に必要なため、試験後も大切に保管してください。
- ケ 試験室に時計はありませんので、必ず持参してください。なお、使用を許可する時計は、計時機能のみのものに限りです。
- コ 筆記試験時間中に使用を許可するものは、鉛筆、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能のみのもの）に限りです。

- サ スマートフォン、携帯電話等は、教室に入る前に必ず電源を切っておいてください。これらを時計として使用することはできません。
- シ 試験会場では昼食の販売は行いませんので、各自で準備してください。昼食場所は、試験会場の教室です。ごみは各自で持ち帰ってください。
- ス 試験当日は駐車場を利用できませんので、公共交通機関を利用してください。
- セ その他必要が生じた場合には、受験票送付の際に併せて通知します。

(6) 不正行為(博士前期課程・博士後期課程 共通)

- ① 以下のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、受験資格を失うこととなります。また、悪質と判断された場合は、警察に被害届を提出する場合があります。
 - ア 志願票、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入(受験票に本人以外の写真を貼ること等。)をすること。
 - イ カンニング(試験に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案を見ること、他の人から答えを教わることなど。)をすること。
 - ウ 他の受験者のカンニングを手助けすること。
 - エ 配付された問題を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
 - オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - カ 開始の指示の前に、問題を開いたり、解答を始めること。
 - キ 試験時間中に、定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む)、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
 - ク 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー等の電子機器類を使用すること。
 - ケ 終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- ② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱い、①と同様です。
 - ア 試験時間中に、定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む)、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり、手に持っていること。
 - イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音(着信・アラーム・振動音など。)を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
 - ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
 - エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - オ 試験場において監督者、面接官等の指示に従わないこと。
 - カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

Ⅲ 博士後期課程 入学試験募集要項

1 募集人員

研究科 専攻 課程	入学定員	募 集 人 員		
		計	一 般 選 抜	学内推薦特別選抜※2
				一 般 枠
保健医療福祉学研究科 保健医療福祉学専攻 博士後期課程	8名	8名	8名以内※1	2名以内※1

※1 一般選抜の募集人員（8名以内）には、学内推薦特別選抜（一般枠）の2名以内を含みます。

※2 第1回（9月入試）入学試験では、学内推薦特別選抜（DC1採用枠）の募集はありません。第2回（3月入試）においてのみ実施します。

2 標準修業年限及び学位

標準修業年限は3年とし、「博士（健康科学）」の学位が取得できます。

3 出願資格

(1) 一般選抜

博士後期課程の一般選抜に出願できる者は、出願前相談（13ページ「3 出願前相談」参照）をした上で、次のア〜クのいずれかに該当する者とします。

また、日本の大学・大学院を卒業・修了せず、外国の大学・大学院のみを卒業・修了（見込みを含む）した者は、ア〜クのいずれかに加えて【日本語資格要件】に記載のある①〜②のいずれかを満たす必要があります。

なお、出願は、年度につき1回としますが、学内推薦特別選抜（一般枠）と併願することもできます。

ア 修士の学位又は専門職学位を有する者（又は2025年3月までに取得見込みの者）

イ 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（又は2025年3月までに授与される見込みの者）

ウ 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（又は2025年3月までに授与される見込みの者）

エ 我が国において、外国の大学院の相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（又は2025年3月までに授与される見込みの者）

オ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者（又は2025年3月までに授与される見込みの者）

カ 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者（平成元年文部省告示第118号）

キ 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）※1

ク 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日までに満24歳に達する者※2

※1 次に該当する者をいいます。

外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

※2 クで出願することを希望する者は、事前に出願資格審査を受ける必要があります。（9ページ「1 出願資格審査」をご覧ください。）

【日本語資格要件】

① 独立行政法人国際交流基金と公益財団法人日本国際教育支援協会とが主催する2010年度以降に行われた日本語能力試験（JLPT）のN1に合格した者。ただし出願前相談で指導教員が認めた場合はN2でも可。

② 独立行政法人日本学生支援機構が実施する次に掲げる日本留学試験（EJU）を受験し、いずれかの試験で日本語科目450点満点のうち280点以上を得点した者。

※外国籍の方は入学手続時まで、「出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）」の規定において、大学院入学に支障のない在留資格を有すること。

(2) 学内推薦特別選抜（一般枠）

博士後期課程の学内推薦特別選抜（一般枠）に出願できる者は、一般選抜の出願要件を満たした上で、次のア〜ウとエ又はオに該当する者としてします。

- ア 本学大学院保健医療福祉学研究科保健医療福祉学専攻博士前期課程を2025年3月までに修了見込みの者
※本区分への出願は、在学中1回限りとします。
- イ 本学大学院保健医療福祉学研究科保健医療福祉学専攻博士前期課程の指導教員から推薦された者
※指導教員は、入試1回につき推薦できる者は、2人を上限とします。
- ウ 本学研究科（博士後期課程）に合格した場合に入学を確約できる者
- エ 査読制度のある国際学術雑誌若しくは日本学術会議協力学術団体の発行する学術刊行物に掲載された筆頭の学術論文を有しているか、又は受理されていること（日本学術振興会特別研究員DC1の採用者枠は除く）
- オ 国内外の学会、研究会、民間などによる研究助成金の獲得や、学会などで口述発表をした際の学会賞を受賞した者（ただし日本学術振興会特別研究員DC1の採用者枠は除く）

○エ〜オ に関する審査基準について
本学では、エ〜オに関しては、以下の基準とします。

- 1) 国際誌に研究論文が掲載された者

【国際誌の基準】

- Web of Science, SCOPUS, DOAJなどの採録に審査があるデータベースに収録されている学術誌
- COPE: Committee on Publication Ethics (出版規範委員会) やOASPA: Open Access Scholarly Publishers Association (オープンアクセス学術出版協会) などの出版団体に所属している学術誌
- 2) 日本学術協力学術団体に加盟している学会誌に掲載された者
- 3) 学会、研究会や民間研究費を獲得した者
- 4) 国際学会や、国内学会において、学会賞を受賞した者

4 選抜方法

英語（一般選抜のみ）、書類審査（学内推薦特別選抜のみ）、面接及び提出書類を総合的に判定して行います。

(1) 選抜期日・科目・試験時間

年 月 日	受験者	試験科目等	試 験 時 間
2024年9月7日（土）	全 員	面 接	9:00 ~ 17:00

※面接終了時間については、受験者数により変更します。また、面接開始時間は当日決定します。

(2) 試験会場

埼玉県立大学（埼玉県越谷市三野宮820番地）

(3) 配点

配点については、次のとおりです。

① 一般選抜

試験科目等・配点		
英語 100点※	面接 100点	合計 200点

※TOEIC Listening & Reading Test の公式認定証の点数を換算します。

② 学内推薦特別選抜（一般枠）

試験科目等・配点		
書類審査 100点	面接 100点	合計 200点

(4) 試験科目等の内容

① 一般選抜

試験科目等	内 容
英 語	TOEIC Listening & Reading Testの公式認定証の点数を評価
面 接	研究計画書で記述した内容のプレゼンテーション及び質疑応答

② 学内推薦特別選抜（一般枠）

試験科目等	内 容
書 類 審 査	志望理由書、推薦書、研究業績調書により、アドミッションポリシーに基づき評価
面 接	志望理由等提出書類、研究計画書で記述した内容のプレゼンテーション及び質疑応答

(5) 受験上の注意

- ア 受験者は、受験者集合時刻（午前8時40分）までに指定された教室に入室し、着席してください。
- イ 受験者集合時刻に不在であった場合には、欠席したものとして取り扱います。
- ウ 面接試験を受験しなかった者は入学者選抜の対象から除きます。
- エ 当日は、受験票、研究計画書（出願時に提出したものと同一のもの）を必ず持参してください。
- オ 当日受験票を忘れた者は、速やかに試験実施本部で仮受験票の交付を受けてください。
- カ 受験票は入学手続きの際に必要となるので、試験後も大切に保管してください。
- キ 試験室に時計はありませんので、必ず持参してください。なお、使用を許可する時計は、計時機能のみのものとします。
- ク スマートフォン、携帯電話等は、教室に入る前に必ず電源を切っておいてください。これらを時計として使用することはできません。
- ケ 試験当日は駐車場を利用できませんので、公共交通機関を利用してください。
- コ 不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示し、それ以降の受験はできなくなります。なお、本学における不正行為等については、5ページの（6）不正行為をご確認ください。
- サ その他、必要が生じた場合には、受験票送付の際に併せて通知します。

(6) 面接試験での注意点

① 一般選抜

- ア 面接試験の冒頭、10分を限度に、研究計画書に基づき、入学後に研究を希望する課題についての説明を求めます。
- イ 説明の際、研究計画書のほか、説明用資料の持ち込みを認めます。（持ち込みは任意）説明用資料を持ち込む場合は、9月3日（火）までに、10ページの2出願手続（3）に記載する必要書類提出先まで、メールで提出してください。研究計画書と併せて面接時の参考資料とします。
資料の体裁は、A4サイズ、5枚以内、文字は12ポイント以上で、PDFで用意すること。（試験当日の受験者自身の資料は、ご自身で用意してください。）
9月3日（火）までに提出がなかった場合、当日の資料持ち込みは認めません。
- ウ 出願時に提出された研究計画書の内容と、当日のプレゼンテーション内容が異なる場合は、当日のプレゼンテーション内容をもとに評価を行います。ただし、当日資料の差替えや追加は認めません。

② 学内推薦特別選抜（一般枠）

- ア 冒頭3分を使い、志望理由と修士論文等の研究業績について説明を求めます。
- イ その後10分を限度に研究計画書に基づき、入学後に研究を希望する課題についての説明を求めます。
- ウ 説明の際、研究計画書のほか、説明用資料の持ち込みを認めます。（持ち込みは任意）説明用資料を持ち込む場合は、9月3日（火）までに、10ページの2出願手続（3）に記載する必要書類提出先まで、メールで提出してください。研究計画書と併せて面接時の参考資料とします。
資料の体裁は、A4サイズ、5枚以内、文字は12ポイント以上で、PDFで用意すること。（試験当日の受験者自身の資料は、ご自身で用意してください。）
9月3日（火）までに提出がなかった場合、当日の資料持ち込みは認めません。
- エ 出願時に提出された研究計画書の内容と、当日のプレゼンテーション内容が異なる場合は、当日のプレゼンテーション内容をもとに評価を行います。ただし、当日資料の差替えや追加は認めません。

1 出願資格審査

(1) 出願資格審査申請期間

2024年6月24日(月)～2024年6月28日(金) 17時 ※期限内必着

(2) 出願資格審査の申請要件

・博士前期課程

3ページの「3 出願資格 (1) 一般選抜 ケ」での出願を希望する方は、出願資格審査により出願資格の認定を受ける必要があります。出願資格審査を申請する場合は、次のいずれかの基準を満たすことが必要です。

ア 保健医療福祉に関する日本国内で取得した国家資格を有し、かつ、保健医療福祉の分野において出願資格審査申請の時点で2年以上の実務経験があること

《保健医療福祉に関する国家資格の例》

看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、精神保健福祉士、臨床検査技師など
イ 短期大学、高等専門学校又は修業年限が2年以上の専修学校の専門課程を卒業し、かつ、保健医療福祉の分野において、出願資格審査申請の時点で2年以上の実務経験があること

・博士後期課程（一般選抜のみ）

6ページの「3 出願資格 (1) 一般選抜 ク」での出願を希望する方は、出願資格審査により出願資格の認定を受ける必要があります。出願資格審査を申請する場合は、次のアの①又は②のいずれかの基準を満たすとともに、イの基準を満たすことが必要です。

ア 次のいずれかの基準を満たすこと。

① 保健医療福祉に関する日本国内の国家資格を有し、かつ、保健医療福祉の分野において出願資格審査申請の時点で5年以上の実務経験があること

《保健医療福祉に関する国家資格の例》

看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、精神保健福祉士、臨床検査技師など

② 短期大学、高等専門学校又は修業年限が2年以上の専修学校の専門課程を卒業し、かつ、保健医療福祉の分野において出願資格審査申請の時点で5年以上の実務経験があること

※ 保健医療福祉の分野における実務経験とは、志願する研究領域の関わる保健・医療・福祉機関、高等教育機関等に現在勤務している又は過去に勤務していたことをいいます。

非常勤、パート、アルバイト勤務の場合、通算2,080時間（1日8時間×5日×52週）の勤務をもって1年と計算します。

イ 単著又は筆頭著者として執筆した査読付論文を2編以上執筆していること。

(3) 出願資格審査に必要な書類

出願資格審査に必要な書類は次のとおりです。

なお、②、④、⑤、及び（博士後期課程のみ）⑥について、申請書と姓が異なる場合には戸籍抄本を添付してください。

① 入学準備出願資格審査申請書（F票）

② 卒業・修了（見込）証明書（最終出身学校のもの）ただし、短期大学、高等専門学校又は修業年限が2年以上の専修学校の専門課程が最終出身学校の場合は、当該学校のものに限る。

③ 審査結果通知用郵便料（簡易書留郵便で送付用の664円分の郵便切手、又はレターパックプラス同封でも可）

④ 資格の免許等の写し（該当者のみ）

※ 看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、精神保健福祉士、臨床検査技師など、保健医療福祉に関する資格を有する場合は、免許等の写しを提出してください。

⑤ 在職証明書（保健医療福祉の分野の実務経験が【博士前期課程：2年以上、博士後期課程：5年以上】であることの証明書。様式任意）

⑥ 【博士後期課程のみ】主要論文2編

※ 単著又は筆頭著者として執筆した査読付論文を2編提出してください。

(4) 提出先

「(3) 出願資格審査に必要な書類」を一般書留(必要に応じて一般書留速達)郵便で、以下に提出してください。レターパックプラスでの郵送も可能とします。

封筒の表には、「大学院博士〇〇課程入学試験出願前資格審査書類在中」と朱書きしてください。

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820番地
埼玉県立大学事務局教務・入試担当
電話 048-973-4117(直通)

(5) 出願資格審査手続上の注意事項

- ア 出願資格審査申請書類がすべて揃っていない場合は、受理できません。
- イ 出願資格審査申請後に氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、「2 出願手続(3) 出願先及び必要書類提出先」まで速やかに連絡してください。
- ウ 出願資格審査結果は本人あてに送付します。7月12日(金)に発送する予定ですが、7月19日(金)までに届かない場合は、提出先までお問い合わせください。
- エ 入学を許可した後であっても、提出された出願資格審査申請書類の記載と相違する事実が発見された場合には入学を取り消すことがあります。
- オ 一度受理した出願資格審査申請書類は、返還しません。

(6) 出願資格審査の免除について

本学の大学院入学試験を受験したことがある者で、次の(1)又は(2)の書類を提出できる者は、出願資格審査を免除します。出願時に(1)か(2)の書類を提出してください。

- (1) 本学大学院入学試験受験票(写)(2021年4月～2024年3月末までの本学大学院入試受験者)
- (2) 出願資格審査結果通知(写)(2021年4月～2024年3月末までに受験資格の認定を受けた者)

2 出願手続

(1) 出願期間

出願期間外は、いかなる理由があっても受理できませんので、余裕をもってお送りください。

① 博士前期課程及び後期課程 一般選抜

2024年7月22日(月)～2024年7月26日(金) **※最終日17時必着**

② 博士後期課程 学内推薦特別選抜(一般枠)

2024年7月8日(月)～2024年7月12日(金) **※最終日17時必着**

(2) 出願方法等

出願は原則郵送に限ります。出願書類を一括して取り揃え、定型外角形2号の封筒に入れ、一般書留(必要に応じて一般書留速達)郵便で、以下の(3)まで提出してください。レターパックプラスでの郵送も可能とします。(※期限内必着)。

「大学院博士〇〇課程入学試験出願書類在中」と封筒の表に朱書きして提出してください。

万が一、持参する場合は、事前に(3)に電話で連絡した上で、土日祝日を除く、午前9時から午後5時の間に封筒(定型外角形2号)に入れたうえで、提出してください。

(3) 出願先及び必要書類提出先

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820番地
埼玉県立大学事務局教務・入試担当
電話 048-973-4117(直通)
E-mail [nyushi "at" spu.ac.jp](mailto:nyushi@spu.ac.jp)

※メールアドレスの“at”は@に置き換えて下さい。

(4) 出願書類

◎提出必須 ○該当者のみ

出願に必要な書類		書 類 作 成 上 の 注 意	選抜区分		
			博士前期 一般選抜	博士後期 一般選抜	博士後期 学内推薦
A票	志 願 票 (原 票)	別添所定の様式に必要事項をもれなく記入してください。	◎	◎	◎
B票	入学検定料等振込金 受 取 書 等	① 入学検定料(30,000円)を、下記指定の口座に受験生本人名義で振り込んでください。 埼玉りそな銀行 せんげん台支店 普通預金 4359321 ※依頼人番号 博士前期 6666 博士後期 7777 ② 銀行窓口で振り込みの際は、銀行備え付けの振込依頼書を使用し、取扱銀行の収納印のある「振込金受取書」を本票に必ず貼付してください。 なお、ATMで振り込みをした場合は、「キャッシュサービスご利用明細書」を貼付すること。 インターネットバンキングで振り込んだ場合には、振込完了画面を印刷したものを貼付してください。 一般選抜と学内推薦特別選抜との併願は、双方の入学検定料(計60,000円)の振り込みが必要です。	◎	◎	◎
C票	写 真 票	① 別添様式に必要事項をもれなく記入してください。	◎	◎	◎
D票	受 験 票	② 縦4cm×横3cmの カラー写真 (正面上半身無帽、背景なし、 <u>出願前3か月以内に撮影したもの</u>) 2枚(同一のもの) の裏面に志望専修名、氏名を記入し、はがれないように全面をのり付けして写真貼付欄に貼ってください。	◎	◎	◎
E票	研 究 計 画 書	別添所定の様式により作成してください。	◎	◎	◎
F票	入 学 試 験 出願資格審査申請書	出願資格審査を受ける方は、別添所定の様式により作成してください。	○	○	
	卒業(修了)証明書 又 卒業(修了)見込証明書等 ※卒業証書の写しは不可	① 最終学歴の卒業証明書(卒業見込証明書)等を提出してください(任意様式) ※個別の入学資格審査による出願者は不要。 ② 大学改革支援・学位授与機構より学位を授与された方は学位記の写し、学位を申請中の方は学位授与申請受理証明書をご提出ください。 ③ 証明書が現姓と異なる場合は、戸籍抄本を提出してください。 ④ 外国の大学等の証明書については、日本語訳又は英語により作成するか、日本語訳又は英語による訳文を添付してください。なお、訳は証明書に直接書き込まないでください。	◎	◎	◎
	日本語資格要件に必要な 試験結果	以下の試験結果を有効とします。 (1) 日本語能力試験(JLPT) 2010年度以降に行われた試験結果 (2) 日本語留学試験(EJU) 2022年11月～2024年6月実施分まで	○	○	
	出願資格審査結果通知の写し	出願資格審査により出願資格の認定を受けた方(2021年4月～2024年3月末までに受験資格の認定を受けた方含む。)は、審査結果通知の写しを提出してください。	○	○	

出願に必要な書類		書 類 作 成 上 の 注 意	選抜区分		
			博士前期 一般選抜	博士後期 一般選抜	博士後期 学内推薦
	過 去 の 受 験 票 (写しでも可)	出願資格審査の免除により出願する方は、 2021年4月～2024年3月末までの受験票(写 しでも可)を提出してください。	○	○	
G票	志 望 理 由 書	別添所定の様式に必要事項をもれなく記入してく ださい。			◎
H票	推 薦 書	別添所定の様式に必要事項をもれなく記入してく ださい。			◎
I票	研 究 業 績 調 書 (修士論文要旨)	別添所定の様式に必要事項をもれなく記入してく ださい。			◎
J票	受 験 票 送 付 用 封 筒 貼 付 用 紙	「受験票」返送用として使用します。 郵便番号、住所、氏名を明記し、志望する専修 等を○で囲ったうえ、344円分の切手を貼付し、 各自で長形3号封筒(12cm×23.5cm)を用意し 貼って提出してください。	◎	◎	◎

注 1) 資格審査を申請した者は、出願時に卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書等の再提出は不要です。

注 2) 在職のまま就学を希望する者は、受験承認書や就学承認書は必要としませんが、勤務先とのトラブルが生じない
ように十分配慮してください。

(5) 提出書類(出願書類の他、以下のとおり提出してください。)

◎提出必須 ○該当者のみ

受験に必要な書類	書 類 に 関 す る 注 意 点	選抜区分		
		博士前期 一般選抜	博士後期 一般選抜	博士後期 学内推薦
TOEIC Listening & Reading Test (TOEIC L&Rと省略) 試験結果	2022年7月から2024年7月までに実施された TOEIC L&R公開テストの試験結果を有効とします。 提出は、公式認定証(原本)又はデジタル公式認定証(2023年4月実施以降)の他、TOEIC L&Rテスト結果(スコア)画面のスナップショットをプリンター出力したもの可とします。TOEIC L&Rテスト結果(スコア)画面のスナップショットをプリンター出力したものを提出する場合は、必ず受験者氏名の記載があるものを提出し、公式認定証原本を9月7日(土)までに必ず提出してください。(受験者名の印字がされない場合は、余白に氏名を記入する。)また、2023年4月以降に受験した方は、デジタル公式認定証をPDFで出力の上、紙に印刷し、提出をしてください。 注1) 一度受理したTOEIC L&Rテスト結果の差し替え・取り下げは認めません。 注2) 9月7日(土)までにTOEIC L&Rテスト結果が提出されなかった場合は出願を辞退したものとみなします。(期限内必着) 注3) 入学を許可した後であっても、提出されたTOEIC L&Rテスト結果等が事実と異なる場合は、入学を取り消すことがあります。	◎	◎	
面接当日の説明書類 (博士後期課程のみ・ 任意)	博士後期課程受験者で、面接試験時に説明用資料の持ち込みを希望する受験者は、9月3日(火)までにメール等で資料を提出してください。資料の体裁は、A4サイズ、5枚以内、文字は12ポイント以上で、ご用意ください。試験当日の受験者自身の資料は、ご自身で用意してください。なお、当日の資料の差し替えは認めません。また、期		○	○

	日までに提出がない場合には、当日の資料の持ち込みは認めません。			
--	---------------------------------	--	--	--

(6) 入学検定料について

下記指定の口座に受験生本人名義で振り込んでください。

埼玉りそな銀行 せんげん台支店 普通預金 4359321

※依頼人番号 博士前期 6666、博士後期 7777

振込方法は、銀行窓口・ATM・インターネットバンキングのいずれも可です。ただし、振込を確認できるものを必ずB票に貼付してください。（「11 ページ（4）出願書類」を参照）

(7) 出願手続上の注意事項

ア 出願書類がすべて揃っていない場合は、受理できません。（ただし、TOEIC L&R のテスト結果及び博士後期課程の面接当日の説明書類を除く。）

イ 出願資格審査で、出願資格なしと判定された場合は出願できません。

ウ 出願書類受理後には出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、「（3）出願先」まで速やかに連絡してください。

エ 受験票は出願書類受理後に本人あてに送付します。受験票は8月2日（金）に発送する予定ですが、8月19日（月）までに届かない場合は、事務局教務・入試担当までお問い合わせください。

オ 入学を許可した後であっても、提出された出願書類等の記載と相違する事実が発見された場合には入学を取り消すことがあります。

カ 一度受理した出願書類等及び入学検定料は、返還しません。

キ 転居又は受信先等を変更した場合は、速やかに事務局教務・入試担当まで連絡してください。

ク 入試期間中の本学からの書類送付先は、日本国内に限ります。日本国内の住所及び連絡先が必要です。

(8) 障害等のある入学志願者の事前相談

障害等のある入学志願者で、受験上の配慮を必要とする場合は、**2024 年 5 月 1 日（水）から 6 月 14 日（金）までに**、事務局教務・入試担当まで連絡・相談してください。

（連絡先）〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820番地 埼玉県立大学事務局教務・入試担当

メール nyushi “at” spu.ac.jp/ 電話 048-973-4117(直通)

※メールアドレスの“at”は@に置き換えて下さい。

3 出願前相談

入学後の研究計画、履修計画、関連資格取得状況、実務経験等について、出願前相談が必要です。研究計画、履修計画は入学後の研究等を進めていく上で重要なポイントとなります。

博士前期課程・後期課程ともに出願資格（必須）ですので、必ず出願前相談をしてください。

(1) 受付期間

2024 年 5 月 1 日（水）～ 2024 年 6 月 14 日（金）

(2) 相談方法

本学ホームページ又は 18～24 ページ「13 研究指導教員」に掲載されている「研究指導に関わる教員の主な研究テーマ等」を確認のうえ、ともに掲載されているメールアドレスに連絡のうえ予約をしてください。受付後、教員から相談日時等について、メール又は電話により連絡します。

なお、来学する際は、本学ホームページから「出願前相談票様式」をダウンロードし、必要事項を記入の上、持参してください。

4 入学時期

2025年4月

5 合格発表

(1) 発表日時

2024年10月11日(金) 午前10時

〈日程は変更する場合があります。変更が生じた場合は速やかに本学ホームページにてお知らせします。〉

(2) 発表方法

本学ホームページで合格者の受験番号を発表するとともに、合格者に合格通知書等を送付します。
電話、電子メール等による問い合わせには、一切応じません。

(3) ホームページによる合格者の受験番号の閲覧について

閲覧できる期間は、合格発表日時から入学手続完了日までです。

※本学ホームページ <https://www.spu.ac.jp>

6 社会人の就学に関する特別措置

(1) 教育方法の特例

大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第14条において、夜間その他の特定の時間又は時期において授業や研究指導を行うことができるとされており、本学大学院では社会人の就学のため、在職のまま在学することを認めています。

(2) 長期履修制度

本学大学院では職業を有しているなどの理由から、一般の学生に比べて年間に修得できる単位数や研究活動・学習活動のための時間が限られており、標準修業年限で修了することが困難な方を対象に、博士前期課程では4年間を、博士後期課程では6年間を上限とした長期の修業年限を設定し、入学の時点から計画的に履修していく長期履修制度を設けています。**長期履修制度を利用するためには、入学手続時に申請が必要です。**申請については合格通知書とともに入学手続書類を送付する際にお知らせします。

本制度を利用した場合、年間授業料は標準修業年限にかかる授業料を長期履修制度適用後の修業年限で除した金額を年間授業料として納付していただきます。また、本制度の認定を受けた者が予定より順調に履修計画が進んだ等の理由により、修業年限の短縮を希望する場合には、指導教員の意見を添え、申請することができます。その場合の年間授業料については別途計算方法を定めていますので、詳細は教務担当までお問い合わせください。

7 入学手続

(1) 入学手続期間

書類到着後～ 2024年10月24日(木) 17時必着

(2) 入学手続方法

ア 入学手続きの詳細及び必要な書類は、合格通知書発送時に直接本人あてに郵送します。

イ 手続書類は原則郵送により提出してください。

やむを得ず持参する場合の受付時間は平日の9時から17時まで(正午から13時を除く。)です。郵送は必ず一般書留(必要に応じて一般書留速達)郵便とし、入学手続期間最終日17時必着とします。

なお、郵送の際はレターパックプラスでも構いません。

ウ 入学料は所定の額を合格通知書に同封した振込依頼書で振り込んでください。なお、振込金受取書を入学手続書類と併せて郵送してください。

(3) 入学書類送付先(手続場所)

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820番地
埼玉県立大学事務局教務・入試担当
電話 048-973-4117(直通)

(4) 入学手続上の注意事項

- ア 入学手続期間を過ぎて到着した書類は受理しません。郵送の場合は所要日数を十分考慮して発送してください。
- イ 必要な書類及び入学料がすべて揃っていない場合には、受理できないことがあります。書類提出の際は、十分確認してください。
- ウ 一度受理した入学手続書類及び入学料は返還しません。
- エ 外国籍の方は、入学手続時までに「出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)」において大学院入学に支障のない在留資格を有すること。また原則として、入学手続の際は日本国内に居住する者を保証人として登録してください。海外在住の者を保証人とする場合、日本国の緊急連絡先として、「日本国内の連絡先」が必要となります。また、入学手続時に在留資格に関する書類を提出いただきます。
- 在留資格に関する書類
- ① 日本における在留資格を持つ者
在留カードの両面コピー(出願時点で有効期限内のものに限る。)又は「住民票の写し」(区市町村長発行の原本(コピー不可)で、国籍・在留資格・在留期間(満了の日を含む。)等の記載があるもの。)
※個人番号(マイナンバー)が省略された住民票を取得すること。取得した住民票に個人番号が記載されている場合は、油性ペンなどを使用して塗りつぶし、完全に見えない状態で提出してください。
- ② 上記以外の者
パスポートの写し(氏名・国籍・顔写真のわかるページ。出願時点で有効期限内のものに限る。
①と②のほか必要な書類等は、合格通知書とともに通知します。

8 初年度納付金

区 分		金 額	備 考
入学料	埼玉県内の者	211,500円	入学手続時に納付。 なお、埼玉県内の者とは、次のいずれかに該当する者をいう。 ① 2024年4月1日以前から引き続き埼玉県内に住所を有する者 ② 2024年4月1日以前から引き続き埼玉県内に配偶者又は一親等の直系尊属が住所を有する者 ※ 「埼玉県内に住所を有する者」については、住民票等に基づき確認します。
	上記以外の者	423,000円	
授業料		621,000円	入学後、前期(4月)、後期(10月)の2回に分けて納付。

注1 2025年度入学者を対象とした金額です。

- 2 上記のほか、学生教育研究災害傷害保険料、教科書等の諸経費がかかります。
- 3 本学大学院博士前期課程を修了し、引き続き本学大学院博士後期課程に進学しようとする者からは入学料は徴収しません。

9 入学試験成績の開示

埼玉県情報公開条例及び個人情報の保護に関する法律に基づき、入学試験の成績(総合得点のみ)を本人に限り開示することができます。希望する方は、事務局教務・入試担当窓口を受験票をお持ちの上、申し出てください。

(1) 開示の対象者

大学院入学試験を受験し、不合格であった者。

(2) 申出の方法

受験者本人が受験票を持参してください。電話、電子メール等による照会には一切応じません。

(3) 開示期間

2024年10月11日(金)午前10時～2025年3月31日(月)
月～金曜日(祝日、年末年始のほか、学内立ち入り禁止日を除く)
午前9時～12時、午後1時～5時

(4) 開示場所

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820番地 埼玉県立大学事務局教務・入試担当

10 個人情報の取扱い

埼玉県立大学では、個人情報を以下のとおり取り扱いますので、予めご了承ください。

- (1) 個人情報は、個人情報の保護に関する法律に基づき、適正に処理します。法令等の規定に基づくときなどの例外を除き、原則として、第三者に提供することはありません。
- (2) 本学への出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所及びその他の個人情報については、①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法や志願動向における調査、研究、分析及び⑤これらに付随する業務を行うためだけに利用します。
- (3) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は、入学者選抜方法における調査、研究、分析を行うためだけに利用します。
- (4) 各種業務での利用においては一部の業務を外部委託することがあります。この場合、受託者には個人情報の保護が義務づけられます。
- (5) 本学への出願にあたってお知らせいただいた個人情報及び入試成績は、入学者のみ入学後の、①教務関係(修学指導等)、②学生支援関係(学籍管理、健康管理、就職支援、授業料免除、奨学金申請の業務等)、③授業料徴収に関する業務を行うためだけに利用します。

11 第2回(3月入試)について

(1) 博士前期課程

第2回(3月入試)は第1回(9月入試)で定員を充足しなかった場合のみ、当該専修(分野)で実施します。第1回で不合格となった方は、第2回に出願することはできません。

(2) 博士後期課程

一般選抜において第2回(3月入試)は、第1回(9月入試)で定員を充足しなかった場合のみ実施します。第1回で不合格となった方は、第2回に出願することはできません。

学内推薦特別選抜(DC1枠)は、第2回においてのみ実施します。なお学内推薦特別選抜(一般枠)は、第2回において実施しません。

○第2回(3月)入試スケジュール予定【前期課程・後期課程共通】

期 間	内 容	対 象
12月2日(月)～12月23日(月)	出願前相談	出願を希望する方(全員必須)
12月2日(月)～12月23日(月)	障害等のある入学志願者の事前相談	障害等があり、受験上の配慮を必要とする方
12月9日(月)～12月13日(金)	出願資格審査(申請)	個別学力審査による出願を希望する方
12月27日(金)	出願資格審査(結果発送)	出願資格審査申請者
1月20日(月)～1月24日(金)	出願期間(後期学内推薦)	博士後期課程学内推薦特別選抜(DC1枠)に出願する方
	出願期間(前期・後期一般選抜)	博士前期課程及び後期課程の一般選抜に出願する方
1月31日(金)	受験票発送	入学志願者全員
3月2日(日)	入学試験	入学志願者全員
3月12日(水)	合格発表	入学志願者全員
書類到着後～3月24日(月)	入学手続	入学試験合格者

12 その他

(1) 奨学金

ア 日本学生支援機構奨学金

独立行政法人日本学生支援機構が、人物・学業ともに優秀でかつ経済的理由により、修学困難な学生に対して学費を貸与する奨学制度です。詳しくは、日本学生支援機構ホームページをご覧ください。

(<https://www.jasso.go.jp/>)

イ その他、地方公共団体等の奨学金制度があります。

(2) 授業料等の減免制度

災害等の予期できない事由により家計が急変する等の、一定の要件を満たした場合に受けられる減免制度があります。

(3) 学費サポートローン利用者への助成

大学提携教育ローン（学費サポートローン）を利用して授業料を支払った場合、在学期間中に支払った利子を大学が助成します。

(4) 教育訓練給付制度について

本学大学院は、教育訓練給付制度の教育訓練講座として厚生労働大臣の指定を受けています。詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。

(<https://www.mhlw.go.jp/bunya/nouryoku/kyouiku/>)

(5) ティーチング・アシスタント制度等について

本学学部及び大学院の教育・研究において補助業務等に携わるティーチング・アシスタント、リサーチ・アシスタントの制度があります。

(6) 入学を許可しない場合

卒業等について「見込み」を要件に出願した者は、2025年3月までにそれぞれ、卒業、修了、学位の授与等が完了していない場合は、入学を許可しません。また、提出された出願書類の記載と相違する事実が発見された場合、提出された書類に虚偽があった場合は、入学を許可しないことがあります。

13 研究指導教員

出願前相談（13ページ「3 出願前相談」を参照）を受付ける教員の一覧です。

〈相談を申込む際、メール送信内容は以下のとおりにしてください〉

- ・件名 「大学院（博士〇〇課程）出願前相談」
- ・本文 ①志願者氏名
②連絡先メールアドレス及び電話番号
③大学院（博士〇〇課程）での研究テーマ
※〇〇には、受験を希望する課程「前期」または「後期」を入力してください。

「研究指導に関わる教員の主な研究テーマ等」を確認のうえ、ともに掲載されているメールアドレスに直接連絡して予約をしてください。受付後、教員から相談日時等について、メール又は電話により連絡します。

※相談したい教員が分からない場合は、まず以下の教員までご相談ください。

課程・専修（分野）名	担当者	メールアドレス
博 士 前 期 課 程		
看 護 学	教授 横山 由美	yokoyama-yumi "at" spu.ac.jp
リハビリテーション学	教授 西原 賢	nishihara-ken "at" spu.ac.jp
健 康 福 祉 科 学		
（社会福祉分野）	教授 小澤 昭彦	ozawa-akihiko "at" spu.ac.jp
（健康情報分野）	准教授 白岩 祐子	shiraiwa-yuko "at" spu.ac.jp
（検査技術分野）	教授 廣渡 祐史	hirowatari-yuji "at" spu.ac.jp
博 士 後 期 課 程	研究科長 金村 尚彦	kanemura-naohiko "at" spu.ac.jp

※メールアドレスの“at”は@に置き換えて下さい。

◆研究指導に関わる教員の主な研究テーマ等◆

（1）博士前期課程

○看護学専修

（C）：専門看護教育課程（CNS）の指導教員を兼任しています。

教員名	上段：主な研究テーマ等 下段：連絡先メールアドレス ※“at”を@に置き換えて下さい。	
飯岡 由紀子(C)	臨床看護学・がん看護学・ウィメンズヘルス・看護教育に関する研究	
	メールアドレス	iio-kyuuko "at" spu.ac.jp
石崎 順子	公衆衛生看護、ヘルスプロモーションに関する研究	
	メールアドレス	ishizaki-junko "at" spu.ac.jp
上原 美子	学校精神保健に関する研究、学校福祉に関する研究、養護教諭の教育に関する研究	
	メールアドレス	uehara-yoshiko "at" spu.ac.jp
兼宗 美幸	女性看護学、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、看護師の生涯学習/継続教育、ジェンダー、セクシュアリティ及び更年期のヘルスプロモーションに関する研究	
	メールアドレス	kanemune-miyuki "at" spu.ac.jp
國澤 尚子	看護技術及び看護技術教育に関する研究、IPW・IPEに関する研究	
	メールアドレス	kunisawa-naoko "at" spu.ac.jp

教員名	上段：主な研究テーマ等 下段：連絡先メールアドレス ※“at”を@に置き換えて下さい。	
金野 倫子	精神疾患における精神症状・予後と睡眠の関連	
	メールアドレス	konno-michiko “at” spu.ac.jp
齋藤 恵子	ウィメンズヘルス、周産期に関する研究、国際看護・異文化看護に関する研究	
	メールアドレス	saito-keiko “at” spu.ac.jp
関 美雪	地域ケアシステム、行政・学校・産業における保健活動、児童虐待、親子保健に関する研究	
	メールアドレス	seki-miyuki “at” spu.ac.jp
善生 まり子	インクルーシブ高齢者ケア、看護チームの連携・協働、AI を応用したヒューマンエラー未然防止などに関連した定性研究	
	メールアドレス	zensho-mariko “at” spu.ac.jp
高橋 恵子	People-Centered Care（市民主体のケア）、市民と保健医療専門職とのパートナーシップ、地域連携、市民のヘルスリテラシーに関する研究	
	メールアドレス	takahashi-keiko “at” spu.ac.jp
竹島 太郎	症状に関する研究、臨床診断に関する研究、予防やリスクに関する研究	
	メールアドレス	takeshima-taro “at” spu.ac.jp
田中 健一	看護における与薬及び医薬品等適正使用に関する研究	
	メールアドレス	tanaka-ken-ichi “at” spu.ac.jp
常盤 文枝(C)	成人看護・成人看護教育に関する研究	
	メールアドレス	tokiwa-f “at” spu.ac.jp
滑川 道人	神経変性疾患の分子遺伝学的研究	
	メールアドレス	namekawa-michito “at” spu.ac.jp
森田 牧子(C)	精神看護、精神科訪問看護、障がい者虐待、自殺やメンタルヘルス関連、依存症に関する研究	
	メールアドレス	morita-makiko “at” spu.ac.jp
山口 乃生子	成人看護学、国際保健学、感染症看護に関する研究	
	メールアドレス	yamaguchi-nobuko “at” spu.ac.jp
横山 由美(C)	小児看護に関する研究、地域で生活する障害を持つ子ども・医療的ケア児に関する研究	
	メールアドレス	yokoyama-yumi “at” spu.ac.jp
櫻井 育穂(C)	小児慢性疾患患者の成人移行期支援における患者家族中心の教育プログラムの開発・評価、成人先天性心疾患患者と家族の移行期支援について	
	メールアドレス	sakurai-ikuho “at” spu.ac.jp
高柳 雅朗	聴覚伝導路の神経解剖学的研究、解剖学教育に関する研究	
	メールアドレス	takayanagi-masaaki “at” spu.ac.jp
山田 恵子	IoT を用いたロコモティブシンドロームに関する研究、身体機能に関する大規模疫学研究、医療情報と医療コミュニケーションに関する研究	
	メールアドレス	yamada-keiko “at” spu.ac.jp

リハビリテーション学専修

教員名	上段：主な研究テーマ等 下段：連絡先メールアドレス ※“at”を@に置き換えて下さい。	
今北 英高	疾患モデルを用いた理学療法介入効果に関する検証、低換気とミトコンドリアの関連性、ファシアに関する基礎・臨床研究	
	メールアドレス	imagita-hidetaka “at” spu.ac.jp
金村 尚彦	バイオロジーやバイオメカニクスの視点による病態の理解と理学療法効果に関する検証	
	メールアドレス	kanemura-naohiko “at” spu.ac.jp
金野 倫子	精神疾患における精神症状・予後と睡眠の関連	
	メールアドレス	konno-michiko “at” spu.ac.jp
田口 孝行	地域リハビリテーションにおける理学療法効果と健康増進に関する研究	
	メールアドレス	taguchi-takayuki “at” spu.ac.jp
竹島 太郎	症状に関する研究、臨床診断に関する研究、予防やリスクに関する研究	
	メールアドレス	takeshima-taro “at” spu.ac.jp
田中 健一	リハビリテーションの分子基盤及び嗜癖依存に関する研究	
	メールアドレス	tanaka-ken-ichi “at” spu.ac.jp
中村 裕美	ライフサイクルに応じた地域在住者の生活の質とメンタルヘルスの促進、及び社会参加支援プログラムの開発に関する研究	
	メールアドレス	nakamura-hiromi “at” spu.ac.jp
滑川 道人	神経変性疾患の分子遺伝学的研究	
	メールアドレス	namekawa-michito “at” spu.ac.jp
西原 賢	身体運動機能の解析法に関する研究	
	メールアドレス	nishihara-ken “at” spu.ac.jp
濱口 豊太	心身相関の作業療法学、運動機能解析、情動制御支援のためのAIアプリケーションとロボット開発	
	メールアドレス	hamaguchi-toyohiro “at” spu.ac.jp
山崎 弘嗣	協調運動の生成原理、運動行動における脆弱化の予知予防、理学療法技術の検証	
	メールアドレス	yamasaki-hiroshi “at” spu.ac.jp
井上 和久	生活環境支援及び健康増進効果（予防）に関する研究	
	メールアドレス	inoue-kazuhisa “at” spu.ac.jp
小栢 進也	変形性関節症における運動療法の効果検証、運動器障害・スポーツ動作のバイオメカニクス・シミュレーション研究	
	メールアドレス	ogaya-shinya “at” spu.ac.jp
木戸 聡史	呼吸器・循環器・全身持久力に関する臨床研究および人を対象にした基礎研究、福祉機器開発研究	
	メールアドレス	kido-satoshi “at” spu.ac.jp
国分 貴徳	メカニカルストレスが生体に及ぼす影響の解明～バイオメカニクスの手法及び実験動物を用いた基礎的研究～	
	メールアドレス	kokubun-takanori “at” spu.ac.jp

教員名	上段：主な研究テーマ等 下段：連絡先メールアドレス ※“at”を@に置き換えて下さい。	
須永 康代	月経周期や妊娠・出産に関連したバイオメカニクスの変化と障害予防、骨盤底機能等に関連する研究	
	メールアドレス	sunaga-yasuyo “at” spu.ac.jp
高崎 博司	再発予防、運動制御、疼痛、患者教育、運動療法、臨床推論、（テーピングを含む）徒手的治疗手技に関する臨床研究やヘルスアウトカムリサーチなど	
	メールアドレス	takasaki-hiroshi “at” spu.ac.jp
村田 健児	骨関節疾患の病態解明に関する研究	
	メールアドレス	murata-kenji “at” spu.ac.jp
山田 恵子	IoT を用いたロコモティブシンドロームに関する研究、身体機能に関する大規模疫学研究、医療情報と医療コミュニケーションに関する研究	
	メールアドレス	yamada-keiko “at” spu.ac.jp
清水 新悟	アライメント補正に関する研究（評価法や障害予防など）、アライメント補正の義肢装具療法に関する研究、アライメント補正の靴と足底挿板療法に関する研究、足部疾患に関する義肢装具療法	
	メールアドレス	shimizu-shingo “at” spu.ac.jp
中村 高仁	高齢者、中枢神経疾患患者に対する運動療法効果、転倒予防、視線行動に関する研究	
	メールアドレス	nakamura-takahito “at” spu.ac.jp

○健康福祉科学専修

教員名	上段：主な研究テーマ等 下段：連絡先メールアドレス ※“at”を@に置き換えて下さい。	
有竹 清夏	不眠症の睡眠状態誤認、睡眠と運動・体温・時間感覚・性差、女性の睡眠と健康に関する生理学的研究	
	メールアドレス	aritake-sayaka “at” spu.ac.jp
井原 寛子	白血病幹細胞のシグナル伝達に関する研究 他	
	メールアドレス	ihara-noriko “at” spu.ac.jp
上原 美子	学校精神保健に関する研究、学校福祉に関する研究、養護教諭の教育に関する研究	
	メールアドレス	uehara-yoshiko “at” spu.ac.jp
大木 いずみ	がんに関する疫学研究、がん検診、がん登録、がん対策に関する研究	
	メールアドレス	oki-izumi “at” spu.ac.jp
小澤 昭彦	精神障害者の職業リハビリテーション、障害者雇用における合理的配慮	
	メールアドレス	ozawa-akihiko “at” spu.ac.jp
北畠 義典	運動（身体活動）疫学及び地域保健に関する研究	
	メールアドレス	kitabatake-yoshinori “at” spu.ac.jp
金野 倫子	精神疾患における精神症状・予後と睡眠の関連	
	メールアドレス	konno-michiko “at” spu.ac.jp
竹島 太郎	症状に関する研究、臨床診断に関する研究、予防やリスクに関する研究	
	メールアドレス	takeshima-taro “at” spu.ac.jp

教員名	上段：主な研究テーマ等 下段：連絡先メールアドレス ※“at”を@に置き換えて下さい。	
田中 健一	健康・口腔・検査・福祉領域における病態制御に関する研究	
	メールアドレス	tanaka-ken-ichi “at” spu.ac.jp
滑川 道人	神経変性疾患の分子遺伝学的研究	
	メールアドレス	namekawa-michito “at” spu.ac.jp
廣渡 祐史	動脈硬化性疾患、生活習慣病に関する検査マーカー及び検査法の研究	
	メールアドレス	hirowatari-yuji “at” spu.ac.jp
村井 美代	AMR 対策（MRSA など薬剤耐性菌の疫学調査）、細菌の DNA 型別（型別法の検討、新規型別法の開発）	
	メールアドレス	murai-miyo “at” spu.ac.jp
若林 チヒロ	健康領域、福祉領域の生活研究	
	メールアドレス	wakabayashi “at” spu.ac.jp
浅川 泰宏	文化資源・歴史遺産・聖地巡礼を活用した地域づくり・観光開発に関する研究、健康の文化・民俗に関する研究	
	メールアドレス	asakawa-yasuhiro “at” spu.ac.jp
岸井 こずゑ	薬耐性菌の分子疫学、及びメカニズムに関する研究 他	
	メールアドレス	kishii-kozue “at” spu.ac.jp
久保田 亮	予防医学検査、食品検査に関する研究	
	メールアドレス	kubota-ryo “at” spu.ac.jp
嵩末 憲子	生活場面面接、多領域におけるミクロ・メゾ・マクロの F-SOAP データ利活用の研究	
	メールアドレス	shimasue “at” spu.ac.jp
白岩 祐子	対人関係（死別）、認知バイアス、行動インサイト（ナッジ）、犯罪被害者遺族のニーズ、被害者法制の効果検証、死後観・他界観、死による肯定バイアス	
	メールアドレス	shiraiwa-yuko “at” spu.ac.jp
津野 陽子	健康経営に基づく保健・医療情報を活用した健康課題の可視化に関する研究、健康経営フレームワークに関する研究	
	メールアドレス	tsuno-yoko “at” spu.ac.jp
中村 潤子	固形臓器移植を対象とした HLA 関連検査の網羅的解析、抗血小板抗体および抗顆粒球抗体検出法に関する研究	
	メールアドレス	nakamura-junko “at” spu.ac.jp
保科 寧子	ボランティア・社会参加に関する研究	
	メールアドレス	hoshina-yasuko “at” spu.ac.jp
矢野 哲也	病理組織技術に関する研究、細胞診検査における電子顕微鏡学的研究	
	メールアドレス	yano-tetsuya “at” spu.ac.jp
山田 恵子	IoT を用いたロコモティブシンドロームに関する研究、身体機能に関する大規模疫学研究、医療情報と医療コミュニケーションに関する研究	
	メールアドレス	yamada-keiko “at” spu.ac.jp

(2) 博士後期課程

○看護学領域

教員氏名	上段：主な研究テーマ等 下段：連絡先メールアドレス ※“at”を@に置き換えて下さい。	
飯岡 由紀子	臨床看護学・がん看護学・ウィメンズヘルス・看護教育に関する研究	
	メールアドレス	iiooka-yukiko “at” spu.ac.jp
関 美雪	保健医療福祉政策、児童虐待、母子（親子）保健、保健師人材育成に関する研究	
	メールアドレス	seki-miyuki “at” spu.ac.jp
横山 由美	小児看護に関する研究、地域で生活する障害を持つ子ども・医療的ケア児に関する研究	
	メールアドレス	yokoyama-yumi “at” spu.ac.jp

○リハビリテーション学領域

教員氏名	上段：主な研究テーマ等 下段：連絡先メールアドレス ※“at”を@に置き換えて下さい。	
今北 英高	疾患モデルを用いた理学療法介入効果に関する検証、低換気とミトコンドリアの関連性、ファシアに関する基礎・臨床研究	
	メールアドレス	imagita-hidetaka “at” spu.ac.jp
金村 尚彦	バイオロジーやバイオメカニクスの視点による病態の理解と理学療法効果に関する検証	
	メールアドレス	kanemura-naohiko “at” spu.ac.jp
中村 裕美	ライフサイクルに応じた地域在住者の生活の質とメンタルヘルスの促進、及び社会参加支援プログラムの開発に関する研究	
	メールアドレス	nakamura-hiromi “at” spu.ac.jp
西原 賢	身体運動機能の解析法に関する研究	
	メールアドレス	nishihara-ken “at” spu.ac.jp
濱口 豊太	心身相関の作業療法学、運動機能解析、情動制御支援のためのAIアプリケーションとロボット開発	
	メールアドレス	hamaguchi-toyohiro “at” spu.ac.jp
山崎 弘嗣	協調運動の生成原理、運動行動における脆弱化の予知予防、理学療法技術の検証	
	メールアドレス	yamasaki-hiroshi “at” spu.ac.jp
小栢 進也	変形性関節症における運動療法の効果検証、運動器障害・スポーツ動作のバイオメカニクス・シミュレーション研究	
	メールアドレス	ogaya-shinya “at” spu.ac.jp
国分 貴徳	メカニカルストレスが生体に及ぼす影響の解明～バイオメカニクスの手法及び実験動物を用いた基礎的研究～	
	メールアドレス	kokubun-takanori “at” spu.ac.jp
高崎 博司	再発予防、運動制御、疼痛、患者教育、運動療法、臨床推論、（テーピングを含む）徒手的治疗手技に関する臨床研究やヘルスアウトカムリサーチなど	
	メールアドレス	takasaki-hiroshi “at” spu.ac.jp
村田 健児	骨関節疾患の病態解明に関する研究	
	メールアドレス	murata-kenji “at” spu.ac.jp

○健康福祉科学領域

教員氏名	上段：主な研究テーマ等 下段：連絡先メールアドレス ※“at”を@に置き換えて下さい。	
有竹 清夏	不眠症者の睡眠状態誤認、身体運動と睡眠・体温・時間感覚の関連、女性の睡眠と健康に関する研究、生理学的検査手法を用いた研究	
	メールアドレス	aritake-sayaka “at” spu.ac.jp
小澤 昭彦	精神障害者の職業リハビリテーション、障害者雇用における合理的配慮	
	メールアドレス	ozawa-akihiko “at” spu.ac.jp
北畠 義典	運動（身体活動）疫学及び地域保健に関する研究	
	メールアドレス	kitabatake- yoshinori “at” spu.ac.jp
金野 倫子	精神疾患における精神症状・予後と睡眠の関連	
	メールアドレス	konno-michiko “at” spu.ac.jp
田中 健一	医薬品等の適正使用等に関する研究、嗜癖依存に関する研究	
	メールアドレス	tanaka-ken-ichi “at” spu.ac.jp
滑川 道人	神経変性疾患の分子遺伝学的研究	
	メールアドレス	namekawa-michito “at” spu.ac.jp
廣渡 祐史	動脈硬化性疾患、生活習慣病に関する検査マーカー及び検査法の研究	
	メールアドレス	hirowatari-yuji “at” spu.ac.jp
若林 チヒロ	健康領域、福祉領域の生活研究	
	メールアドレス	wakabayashi “at” spu.ac.jp
白岩 祐子	対人関係（死別）、認知バイアス、行動インサイト（ナッジ）、犯罪被害者遺族のニーズ、被害者法制の効果検証、死後観・他界観、死による肯定バイアス	
	メールアドレス	shiraiwa-yuko “at” spu.ac.jp
山田 恵子	IoT を用いたロコモティブシンドロームに関する研究、身体機能に関する大規模疫学研究、医療情報と医療コミュニケーションに関する研究	
	メールアドレス	yamada-keiko “at” spu.ac.jp